

iCoToBa 授業ガイド:2025 年度

受講希望者は下記の URL または QR コードから申し込んでください。



<https://forms.office.com/r/G5kiWGdmaB>

問い合わせ先: icotoba@for.aichi-pu.ac.jp

コース名: やり直し英会話 Step into English Conversation	時間: 月 2	期間: 13 週間
	レベル: 初級～中級 CEFR A1-B1	場所: iCoToBa
担当者: Ngaire Anne KEENAN (ナイレーアン キーナン)		
<u>コースの特徴:</u> 基本を見直して、なるべくたくさん楽しく話すことができるようになることを目指します。 英語は苦手…と思っている人、英語の勉強はしたけれど忘れてしまった…という人、 自信はあるけれどもう一度復習したい人などにぴったりのコースです。 全学部全学科の皆さん、一緒に楽しく英語をやり直しませんか！		
<u>内容:</u> 第 1 回: Getting to Know You 第 2 回: All About Me 第 3 回: Tips for Speaking More Clearly 第 4 回: Everything Numbers 第 5 回: Food Across the World 第 6 回: Directions Using Public Transport 第 7 回: Directions in Town! 第 8 回: Show & Tell (My Most Treasured Possession) 第 9 回: At the Restaurant 第 10 回: Clear Pronunciation 第 11 回: Giving Instructions 第 12 回: Time & Timetables 第 13 回: Games (Teach & Play)		
<u>どんな人に合うか?</u> 全学部学科の 1 年生・2 年生、英語を専攻していない学生、「英語が話せるようになりたいけど怖い」と思っている人、一応話せるけどミスが多い人		

コース名： 中級の壁を破ろう！ Step up in English Conversation	時間：火 2 レベル：中級～上級 CEFR B1-C1	期間：13 週間 場所：iCoToBa
担当者：Ngairé Anne KEENAN（ナイレーアン キーナン）		
<u>コースの特徴：</u> ある程度英語は話せるけれど、もう少し深い内容についても話したい人、ボキャブラリーや英語表現を増やし、自信を持って話す力をつけたい人向けのコースです。		
<u>内容：</u> 第 1 回: Getting to Know You 第 2 回: Let Me Introduce Myself 第 3 回: Our Ancestors – then and now 第 4 回: Out & About – giving directions and assisting tourists 第 5 回: Food – my favourite dish and how to make it 第 6 回: My Favourite Place to Visit 第 7 回: Habits – good and bad 第 8 回: Emotions & Reactions 第 9 回: Debate 第 10 回: Pronunciation and Intonation 第 11 回: My Favourite App 第 12 回: Music – my favourite artist/song 第 13 回: Games (Teach & Play)		
<u>どんな人に合うか？</u> 英語で話せる幅を広くしたい人、使える英単語を増やしたい人、 英語圏に留学する予定のある人、留学などで得た英語力を維持したい人		

コース名： 文法と発音をやっつける！ English Conversation I	時間：水 3 レベル：初級～中級 CEFR A1-B1	期間：13 週間 場所：G202
担当者：Damien OKADO-GOUGH（デミエン オオカドゴーフ）		
<u>コースの特徴：</u> ・英語でのコミュニケーションに自信をつける。 ・会話の流暢さを約 100-120 wpm にする。 ・3 つの時制/相で文法の複雑さと正確さのレベルをあげる。 文法では、適切な時制の使用、主語と動詞の一致、文の構造、冠詞、複数形を含むことに注力する。 ・学校、仕事、余暇、経験と出来事、家族、友人と同僚、希望、夢、野心、計画に関する語彙を増やし、適切に述べるようにする。そして、それらについて意見を表明し、理由を説明する。 ・ /θ/ と /ð/ (th)、/r/ と /l/、/f/ と /v/、/w/、/ʃ/ (s) 等、音素の発音に習熟できるようにする。		
<u>内容：</u> 第 1 回：自己紹介、コース構成、成績評価、教材の概要、対象となる音素の指導 第 2 回：最初のトピック-子供時代 子供時代についての会話を計画する。グループで会話のトピックと語彙を選択する。発音を練習する。 第 3 回：発音練習、文法の復習、試験のための会話練習、最近の出来事に関する会話 第 4 回：発音チェック①子供時代についての会話 第 5 回：会話チェック① 第 6 回：2 番目のトピック-大学生活 学生は会話のトピックと語彙を選択する。 第 7 回：発音練習 学生は、勉強、アルバイト、友達と過ごす時間など、大学生活についてのグループおよびペアでのディスカッションを行う。 第 8 回：発音チェック②大学生活についての会話 第 9 回：会話チェック② 第 10 回：3 番目のトピック-卒業後の生活 第 11 回：次の会話の話題を準備する。 第 12 回：将来の生活、キャリア、家族、希望、夢などのトピックについての話し合い。 第 13 回：会話チェック③		
<u>講師から</u> ・5 分間の会話テストを 3 回（各 30%）、発音テストを 2 回（各 5%）します。 ・テストは、幼少期、大学生活、卒業後の生活をテーマに、クラスメートとペアになって会話するものです。 評価は、次の項目について行います。 1. 流暢さ 2. 文法（複雑さと正確さ） 3. 語彙 4. 発音 5. コミュニケーション能力（会話管理スキル） <u>しかしこれは成績をつけるためのものではありません。テストをすることによって皆さんの理解の定着を知るためのものです。いっしょに楽しく英語を学びましょう！</u>		

コース名： 英会話を極める！ English Conversation 2	時間：水 4	期間：13 週間
	レベル：中級～上級 CEFR B1-C1	場所：G202
担当者：Damien OKADO-GOUGH（デミエン オオカドゴーフ）		
コースの特徴： ・ 英語でのコミュニケーションに対する自信をつける。 ・ 会話の流暢さを約 120-150 wpm（ネイティブのスピードとほぼ同じ）にする。 ・ 会話の文法の複雑さと正確さのレベルをあげる。 ・ 時事問題、私生活、メディア、文学、それぞれが興味を持つその他のトピックに関する語彙を増やし、適切に述べるようにする。 ・ /θ/ と /ð/ (th)、/r/ と /l/、/f/ と /v/、/w/、/ʃ/ (s) 等、音素の発音に習熟できるようにする。		
内容： 第 1 回：自己紹介、コース紹介 - 発音指導 第 2 回：最初のトピックを選択 学生はクラスで議論する最初のトピックを選択する。 第 3 回：トピック 1 を理解する - トピック内の問題を読んで議論する。 第 4 回：発音評価①トピック 1 についての会話 第 5 回：会話評価① 第 6 回：学生はクラスで議論する2番目のトピックを選択する。トピック 2 を理解する。 トピック内の問題を読んで議論する。 第 7 回：発音チェック①トピック2についての会話 第 8 回：会話チェック① 第 9 回：会話チェック② 第 10 回：学生はクラスで議論する3番目のトピックを選択する。トピック3を理解する。 トピック内の問題を読んで議論する。 第 11 回：発音評価③ トピック3についての会話 第 12 回：会話評価③ 第 13 回：復習クラス		
講師から ・ 5 分間の会話テストを 3 回（各 30%）、発音テストを 2 回（各 5%）します。 ・ テストは、幼少期、大学生活、卒業後の生活をテーマに、クラスメートとペアになって会話するものです。 評価は、次の項目について行います。 1. 流暢さ 2. 文法（複雑さと正確さ） 3. 語彙 4. 発音 5. コミュニケーション能力（会話管理スキル） <u>しかし、これは成績をつけるためのものではありません。テストをすることによって皆さんの理解の定着を知るためのものです。いっしょに楽しく英語を学びましょう！</u>		

コース名： 米英における歌と社会 Songs and Society in the U.S. and Britain	時間：木 4	期間：13 週間
	レベル：上級 CEFR B2 Advanced	場所：iCoToBa
担当者：Edgar Wright POPE (エドガーライト ポープ)		
コースの特徴： 歌詞を読みながら歌曲を聴き、歌とその社会的・歴史的背景についてディスカッションを行うことで英語力を鍛えたい学生のためのクラスです。1960 年代以降のアメリカとイギリスのフォーク・ソングとポピュラー・ソングに焦点を当てます。社会的状況と歌手やソングライターの個人的な関心という文脈で歌について議論することによって、知識と会話能力を発展させます。また、歌詞を学ぶことによって語彙の知識と文法の理解を深めることもできます。 クラスでは、歌詞のプリントを配った上で歌曲の音源を聴き（場合によって歌い）、曲の背景と文脈を説明します。その後フリーディスカッションを行います。授業の最後の数回では、学生はそれぞれ自分で選んだ歌曲について発表し、発表の後ディスカッションを行います。		
内容： 第 1 回：アメリカのフォーク・リバイバル “500 Miles” 第 2 回：イギリスのフォーク・リバイバル “Willie O’Winsbury” 第 3 回：ブルーズ・リバイバル “Rolling Stone” 第 4 回：1960 年代のシンガー・ソングライター “Hard Rain” 第 5 回：アメリカのフォーク・ロック “Mr. Tambourine Man” 第 6 回：イギリスのフォーク・ロック “Farewell, Farewell” 第 7 回：サンフランシスコとヒッピー運動 “San Francisco” 第 8 回：反戦運動 “Blowin’ in the Wind” 第 9 回：1970 年代のシンガー・ソングライター(1) “California” 第 10 回：1970 年代のシンガー・ソングライター(2) “Helpless” 第 11 回：学生の発表 第 12 回：学生の発表 第 13 回：学生の発表		
どんな人に合うか？ 英語で話せる幅を広くしたい人、使える英単語を増やしたい人、 英語圏に留学する予定のある人、留学などで得た英語力を維持したい人		

コース名： TOEIC Clinic: English Enhancement Course TOEIC 対策:英語力強化講座	時間：月 4	期間：13 週間
	レベル：全レベル All Levels	場所：G104
担当者：福田 薫（ふくだ かおる）		
コースの特徴： 週ごとのトピックに基づき、ディクテーション、ディスカッション、音読、長文読解、英作文等の様々な語学演習を適宜実施し、英語 4 技能を伸ばします。特にリスニングおよびスピーキングの発展に重点を置きます。また、英語のみならず、現代人としての素養も身に付けられるよう、21 世紀を生きる者が考えるべき問題に関する世界各国・地域での事例をトピックにします。 各回の授業内容は受講者のニーズ等によって変更・調整する可能性があります。		
内容： 1)The UK: Immigration and Nationalism 2)The UK: Immigration and Nationalism 3)Ireland: Religion and Repression 4)Ireland: Religion and Repression 5)Nigeria: Ethnic Conflict and Cultural Expression 6)Nigeria: Ethnic Conflict and Cultural Expression 7)South Africa: Racism and Mythology 8)South Africa: Racism and Mythology 9)New Zealand: Tradition and Cultural Resurgence 10)New Zealand: Tradition and Cultural Resurgence 11)Australia: Heritage and Acculturation 12)Australia: Heritage and Acculturation 13)Anything (Topic of Your Choice)		
講師から リスニング、スピーキングを中心とした英語運用能力の向上を目指します。 その付随的な結果として TOEIC 等資格試験のスコア向上も目指します。 教材は教員が用意します。 〈参考〉 Global Perspectives in the English-speaking World: Past and Present グローバル・マインドへの道：英語圏の歴史と文化（Kusaka, JA/Elam, Jesse/Dax, Thomas 著、松柏社）		

コース名： 留学前準備講座（独） Vorbereitung auf das Auslandsstudium	時間：月 5	期間：13 週間（前期のみ）
	レベル：初中級 CEFR A2	場所：G102
担当者：Martin NIER（マーティン ニアス）		
<u>コースの特徴：</u> ●外国への留学前に、語学の勉強及び、その国での生活への準備をする。現地での生活に即した語学や文化の学習をする。また、外国での学習形態や方法の違いについても学ぶ。 コミュニケーションメソッドやインターアクティブラーニングなどの方法についても説明する。 ●カフェやレストラン、買い物など場面に応じた実践的な語学の学習を繰り返し、実際に現地で使える外国語を身につける。 SIM カードの入手方法や銀行口座の開設の仕方、レンタカーの借り方、チップの渡し方などのすぐに使える情報の提供。 今後、外国で仕事を探す際の助けになるような授業を行なう。 ●外国語のスマートフォンアプリやインターネットリソースなどのメディアやデジタル素材を活用しながら、明日から使えるような実践的な授業を展開する。		
<u>内容：</u> 第 1 回：自己紹介及び教科書についての説明 第 2 回：挨拶の仕方 第 3 回：日付の説明 第 4 回：人へのたずね方について学ぶ 第 5 回：時間の表し方について 第 6 回：食事や住まいについて 第 7 回：方向や場所の言い方 第 8 回：使い方をたずねる 第 9 回：簡単なゲーム 第 10 回：ドイツでの典型的な習慣 第 11 回：ドイツの音楽を聴く 第 12 回：スマートフォンアプリを使った学習 第 13 回：まとめ		
<u>どんな人に合うか？</u> ドイツ語圏に留学する予定のある人、留学などで身につけた語学力を維持したい人 留学は決まっていないが、留学で使う語学を勉強したい人		

コース名： CAPLE に挑戦しよう！ Vamos prestar o CAPLE!	時間：水 14:00-15:30	期間：15 週間（前後期合わせて）
	レベル：初中級 CEFR A2	場所：G201

担当者：MEL0 Wadison（メロ ワジソン）

コースの特徴：

CAPLE ポルトガル語検定試験は、ポルトガルのリスボン大学文学部、外国語としてのポルトガル語検定センター本部(CAPLE)が実施する国際的検定試験で、世界中で広く認定され、ポルトガル語学習者にとってとても重要な検定試験です。京都ポルトガル語検定試験センターでは CAPLE の指示に従って毎年秋（11 月頃）に検定試験を実施しています。授業では、CAPLE ポルトガル語検定試験において A2（準初級）に合格できることを目指して、読解、会話、聴き取りの練習をしましょう。

内容：

Os exames do Centro de Avaliação de Português Língua Estrangeira, da Faculdade de Letras da Universidade de Lisboa (CAPLE), avaliam e certificam as competências escritas e orais em português como língua estrangeira (PLE), e são reconhecidos por várias instituições nacionais e estrangeiras. Assim sendo, são exames importantes para aqueles que estudam o português como língua estrangeira. O Centro de Exame de Proficiência em Português de Quioto realiza os exames todos os anos, em outono (geralmente em novembro), seguindo as orientações do CAPLE. Neste curso, vamos praticar a leitura, conversação e compreensão auditiva para passar no nível A2 (Certificado Inicial de Português Língua Estrangeira) do exame do CAPLE.

講師から

前・後期あわせて 15 週間のコースです。

前期は 5 月 14 日(水)から開始です。

検定試験合格を目指して一緒にがんばりましょう。

コース名： DELE B1 の準備をしよう！ ¡Listos para el DELE B1!	時間：木 3	期間：前期 6 週間 後期 7 週間
	レベル：初中級～中級 CEFR A2-B1	場所：iCoToBa
担当者：LLOVET FERRER Marc（ユベット ファレ マルク）		
<u>コースの特徴：</u> DELE スペイン語検定試験は、世界中で広く認定されている外国語としてのスペイン語能力に関する検定試験で、スペイン語学習者にとってとても重要な試験です。 授業では、5 月または 11 月に行われる DELE スペイン語検定試験で A2 または B1 合格を目指し、読解、会話、聴解の練習をします。 DELE 試験には 4 つのスキルがあります。 • 読解力 • 聴解 • ライティング • スピーキング 授業では毎週、スペイン語の復習と上達のための演習を行います。自宅で取り組むための 2 つのスキルを宿題として出します。DELE 受験後は、口頭表現と語彙の上達に重点を置いていきます。 授業はスペイン語で行われます		
<u>内容：</u> El examen DELE es una prueba de dominio del español como lengua extranjera ampliamente reconocido en todo el mundo y es un examen muy importante para los estudiantes de español. En clase, practicaremos las destrezas de lectura, conversación y comprensión oral con el objetivo de aprobar el A2 o B1 en los exámenes DELE de mayo o no El examen DELE consta de cuatro destrezas: • Comprensión lectora. • Comprensión auditiva. • Expresión escrita. • Expresión oral. Se realizarán ejercicios semanales en clase para repasar y mejorar el uso del español. Los alumnos recibirán dos destrezas como deberes para trabajar en casa cada semana. Después de realizar el DELE, nos centraremos en la mejora de la expresión oral y el vocabulario. Las clases se realizarán en español.		
<u>講師から</u> 前期 6 回、後期 7 回のコースです。 前期：4 月 17 日, 24 日, 5 月 8 日, 15 日, 22 日, 29 日 後期：10 月 16, 23, 30 日, 11 月 6, 13, 20, 27 日 DELE 合格を目指して一緒にがんばりましょう。		